



※学校だよりのタイトル『羽ばたく』は、甲府市出身の宮沢和史さんに作詞作曲していただいた、舞鶴小学校の校歌の歌詞の一節です。「ふるさとを愛し、羽ばたく子に」なって欲しいとの願いをこめてタイトルとしました。

2学期のご協力をお願いします

始業式の日から「まん延防止等重点措置」により、県と市の指導のもと、全校の子ども達を地区で2グループに分けてのスタートとなりました。急な対応でご迷惑をおかけしましたが、保護者や地域の皆様のご配慮で、大きな混乱もなく子ども達は学校生活を送っています。

終業式の日、子ども達に「卒業生からは感謝の言葉を、1年生からはお願いしますとの言葉があったと穴切愛育会の方から伺いました。その話を聞いたとき、舞鶴の子の思い遣る心を誇らしく思いました。」と話しました。その日の下校時、玄関で何人かの子が、あちらこちらで担任の先生に「1学期の間、ありがとうございます。」とあいさつをしていたのです。誰も先生にお礼を言いなさい、などと言わない中で、子ども達から自然に溢れ出した言葉でした。改めて、本校の子ども達の素晴らしさを感じるとともに、この子達を導くに足りうる職員集団でなければならないと思える瞬間でした。

分散登校という、いつもと違う2学期のスタートとなりましたが、子ども達にとって実りの秋となるよう、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

終業式

夏休みの前に、校内TV放送で終業式を行いました。代表の子ども達からは、「林間学校で、なかなか火が付かなかったけれど作ったカレーが美味しかった。」など、1学期の思い出や、「なわとびが上手にできなかったので挑戦したい。」など、2学期に取り組みたいことについて発表がありました。体力づくりや自由研究など、長い休みだからこそできることに粘り強く取り組み、有意義な夏休みにして欲しいと思いました。



ラジオ体操

昭和時代、小学生の夏休みの朝といえば、ラジオ体操、男子はソフトボール、女子はキックボールと決ま



っていて、地域の中学生や大人に指導していただく姿が各地域で見られました。今は、子ども達の数も減り、どこの地域の行事も減ってきている上に、コロナ禍ですので、子どもクラブ等の活動もだいぶ制限されているようです。そんな中ですが、子ども達の所属する各自治会では、参加人数や実施期間等には違いがあるものの、「朝のラジオ体操」に継続して取り組んでいただいています。どの会場でも、子ども達が元気にラジオ体操に取り組む姿が見られ、地域の方の子ども達へのご支援にありがたく思いました。きっと子ども達の「夏休みの思い出」の1ページになったと思います。

夏休みの図書館解放

夏休みは、授業のような3密回避の対応ができないため、プール開放は行いませんでしたが、じっくりと読書に取り組むよい機会と考え、図書館開館日を設定しました。夏休みに入って初めての開館日のためか、100名を超える子ども達が本を借りに来てくれました。玄関で検温をしたあと名簿にチェック、手指の消毒をします。三密を避けるため30名の入場制限を行ったことから、借り終えた人との入れ替えの場面もありました。3回の開館日を設定したのですが、残念ながら熱中症対応とコロナ対応で1日しか開館できませんでした。コロナ禍ではありますが、読書の秋に向けて良い本をたくさん読んで「心の栄養」を増やして欲しいと思います。



分散登校「始業式」

1日に2回の始業式となりましたが、始業式の中で「夏休みの思い出と2学期の目標」を3名の子が発表してくれました。「たこ焼きパーティーをした」など、子ども達の話から、コロナウィルス対策をした上で、家族で有意義な時間を過ごしたことが分かりました。また、「2学期は、なわとびを頑張りたい」など、今の自分を更によくしようとする気持ちを発表してくれました。



分散登校「健康観察」

当面、子ども達の健康状態を把握するために、登校時に健康観察記録用紙の確認を行いました。メールでもお願いしましたが、体調不良の場合、欠席扱いになりませんので、お子さんの体調が良くなり元気に学校生活が過ごせる状況になるまで、ご家庭でゆっくりと休ませてください。ご家族の発熱時の対応なども含めて、改めてご確認をお願いいたします。



分散登校「教室の様子」

教室では、平常時の半数の子ども達が、一列おきに座ったり市松模様に座ったりして密にならないようにしました。午前中に2回の始業式でしたので、教室での学級指導も忙しく、夏休みの課題を回収したり、明日からの生活や課題について話したりするなど、慌ただしい半日となりました。



2学期は運動会を含めて各学年様々な取り組みがあるので、全員が揃った段階で、学級役員などを決めていく予定です。特に6年生は、運動会に加えて陸上記録会の取り組みもあり、時間も限られていることから、できることから子ども達と取り組みを話し合っていました。



早速翌日から、6年生は陸上記録会に向けての準備のために、まずは、事前に各種目のデータを測定していました。



分散登校「給食の様子」

給食は、通常通り実施となっていますが、半数の子ども達となっているので、学級によっては登校した子が全員で当番を行いました。係活動や掃除などもメンバーの人数や分担場所、作業内容を工夫しながら、力を合わせて取り組んでいました。



分散登校「校庭の様子」

半分の子が校庭で遊ぶ姿は、いつもと違い、大分空間が広く感じられました。それでも、コロナ対策のため、密を避け、ソフト棒を使って鬼ごっこをする姿を見て、子ども達がいての学校だと思えました。



分散登校「下校の様子」

子ども達の授業は下校時の安全確保のために、分散登校にあわせて当面の間、全校5校時としました。下校グループや方面等に関係なく下校時刻が確定し、地域の見守り隊の活動が確実となり、また誘い合せて下校することで子どもの数が増え犯罪の抑止力となります。特に、1・2年生は、さらにまとまって下校できるよう、2学年を合わせての下校指導を行いました。



菊島先生の紹介

子ども達には、始業式に紹介しましたが、4年2組の渡邊先生が体調不良で9月一杯お休みをすることになりました。この間、2年生の担当の菊島文記先生に学級担任をしていただくことになりました。渡邊先生の回復を祈念するとともに、4年生と若尾先生、菊島先生で学校生活が豊かになるよう取り組んでいってほしいと思います。